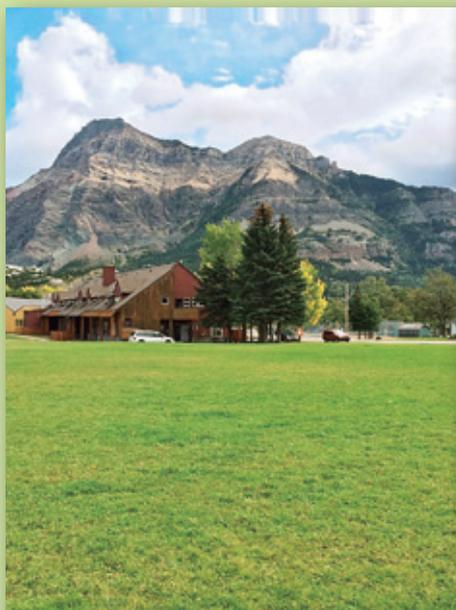




# International Programs in Language and Culture 2016



北海学園大学人文学部



## Brock University's partnership with Hokkai-Gakuen University

In the wake of our 50th anniversary celebrations here at Brock University year, it is a time for us to reflect on important partnerships we have developed over the years. Our relationship with Hokkai-Gakuen University is one partnership that we certainly value at Brock University.

Just as Brock has grown over the years, so, too, has our partnership with Hokkai-Gakuen University. For more than ten years we have had the pleasure of welcoming students from the Faculty of Humanities to our university. Since 2014 the program has expanded so we also have the pleasure of working with students from the Faculty of Business. These new groups have allowed us to diversify the types of academic activities we can offer, including trips to local wineries, the Niagara Hilton Hotel and the Royal Bank of Canada. At the same time, we see your students actively participating in many of our annual university and local activities such as our Grape Stomp and the Ice Dogs hockey games.

The enthusiasm and energy the Hokkai-Gakuen students bring to our campus every year is wonderful to see. During their short stay, they form new friendships with students from around the world and develop lasting relationships with their homestay families. We are all enriched by their presence in our classes and on our campus.

We hope that as Brock moves into the next 50 years of its founding, our long-standing relationship with Hokkai-Gakuen University will continue to grow. I also hope that I have the opportunity to visit your campus once again in the near future.

## Strengthening the HGU-ULeth Partnership

On behalf of the senior administration and myself, I would like to invite you to join our University of Lethbridge International family. The University of Lethbridge is consistently ranked as one of the top small universities in Canada and has a long tradition of providing quality education and helping students achieve their personal and educational goals.

We welcome you into our international family with representation from over 65 countries. You will work with others to gain first-hand information about and insight into Canadian university life. As a member of our International family, you will find plenty of opportunities to connect with other students, both Canadian and international, and have access to all student services.

Make the University of Lethbridge your destination university. See you soon!

# 人文学部カリキュラムにおける語学文化研修

## 英米文化特別演習(旧、国際文化演習):9月

英米文化特別演習は、9月初旬から約3週間、本学の協定校であるカナダ、レスブリッジ大学(アルバータ州)またはブロック大学(オンタリオ州)のいずれかにおいて、現地の大学の授業を履修するために必要な英語運用能力を養成するプログラム(IELPまたはEAP)の履修と現地での様々なアクティビティを通じた文化体験による研修です。2014年度からは学生の希望と英語力により、2つの大学のいずれかを選択して参加できるようになりました。参加学生にとってこの研修は、現地での様々な経験や出会いを通じてその後の新たな目標を見つけ、より長期の留学や進学を目指すなど、次のステップに向かうための重要な足掛かりとなっています。是非、多くの学生に参加してもらいたい研修です。

## 国際文化特別演習:9月~12月

国際文化特別演習は、英米文化特別演習と同じ時期に上記の協定校2校のいずれかにおいて、現地での1学期(約14週間)を他の国からの留学生と一緒にIntensive English Language Program(IELP, ブロック大学)、English for Academic Purpose Program(EAP, レスブリッジ大学)で現地大学レベルでの学術研究に必要な英語運用能力を養成するための授業を履修します。3週間という期間の短い英米文化特別演習より、さらに大きな成果が期待されます。この科目は2年次より履修可能で、英米文化特別演習の参加経験の有無を問わず参加可能です。また、現地での学修は履修科目と成績に応じて12単位(過年度)が本学卒業単位として認定されました。



2016年度結団式(経営学部と合同開催)



ブロック大学研修



レスブリッジ大学研修

## Contents

挨拶	1	レスブリッジ大学及び Lethbridge 市の紹介 レスブリッジ大学海外研修事業の概要と EAP 授業	10
人文学部カリキュラムにおける語学文化研修	2	レスブリッジ大学のアクティビティ	11
ブロック大学及び St. Catharines 市の紹介 ブロック大学海外研修事業の概要	3	参加者エッセー [レスブリッジ大学 / 国際文化特別演習]	12
ブロック大学の ESL 授業 ブロック大学のアクティビティ	4	研修までの流れ	15
参加者エッセー [ブロック大学 / 英米文化特別演習]	5	海外研修事業の歴史	16
参加者エッセー [ブロック大学 / 国際文化特別演習]	7	Photo Gallery	17

# ブロック大学及び St. Catharines 市の紹介

## St.Catharines市

カナダ、オンタリオ州南西部に位置するセント・キャサリンズ市 (City of St. Catharines) は、ナイアガラ地域では最も大きな都市です。果樹園やぶどう園、ゴルフコース、史跡などに囲まれ、緑あふれる景観からガーデン・シティ (The Garden City) とも呼ばれています。手入れのゆきとどいた美しい公園と 200 を超える温室があり、カナダの温室産業の基地ともなっています。

トロントからは車で 1 時間、ナイアガラの滝には 20 分弱と近く、ナイアガラ観光に適した都市でもあります。また、トロントとアメリカのバッファローの間という位置でもあり、アメリカからも多くの人を訪れます。ワイナリーは 45 以上もあると言われ、カナダ最大のワインの産地としても知られています。



セント・キャサリンズ市



ブロック大学

## ブロック大学とは

ブロック大学は、セント・キャサリンズ市にある 1964 年に設立された総合大学です。大学名は、1812 年の戦争 (War of 1812) の軍功で名高いアイザック・ブロック (Isaac Brock) の名にちなんでいます。中規模ながら充実した学術プログラムが国際的にも評価され、応用健康科学部、経営学部、教育学部、人文学部、数学科学部、社会科学部及び大学院が設置されています。また、留学生向けには充実した英語集中講座があります。

※ブロック大学公式 HP <http://www.brock.ca/>

## ブロック大学海外研修事業の概要

今日は社会の多文化化にともない、日常語としての英語の普及および実践的な多文化適応力の養成が求められています。ブロック大学と本学とは 2000 年に交流協定を締結し、9 月上旬からの 3 週間、IELP (Intensive English Language Program: 英語集中講座) に学生を派遣しています。2014 年度からは科目名を「英米文化特別演習」と改め、1 年次からの参加が可能となりました。さらに 2015 年度からは 2 年次から参加できる「国際文化特別演習」として、9 月上旬から 12 月中旬までの秋学期、約 3 ヶ月にわたり IELP を履修することを可能としました。両演習とも英語圏の大学での就学に必要な英語運用能力を習得することが主要な目的ですが、ホームステイや様々な文化活動を通じて、カナダの文化・社会についても理解を深められるのも特徴の一つです。研修を通じて得られるもう一つの経験は多文化主義の実体験です。研修期間中、学生たちは中南米、アジア、中東各国からの留学生を中心とする多様な文化背景を持つ人々と授業を受けることになります。様々な国の学生と友好を深め、視野を広げる機会となり、積極的な授業参加や発言の場ともなっています。

# ブロック大学の ESL 授業 【プレイスメント・授業内容等】

ESL クラス

平日 8:00 ~ 16:00

学生は5つのクラス（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング・グラマー）を受講します。

## ●自身のレベルに応じて学習

プレイスメントテストの結果に応じて、レベル0（英語入門クラス）からレベル5（大学入学準備クラス）までの6つの段階に習熟度別にクラス分けされます。

## ●いろいろな国からの学生と共に学習

アジア・中東・中米・南米などから来ている学生たちと共に学びます。

## ●授業は、英語だけを使用

世界中から学生が集まるため、お互いにコミュニケーションを図る際は、英語を使用しなくてはなりません。授業中だけでなく、大学構内では他の言語を使用せず、英語だけをを使うよう勧められています。



ブロック大学のキャンパス



①



②



③



④

①ブロック大学でのオリエンテーション ②③④ブロック大学の教室で

# ブロック大学のアクティビティ 【トロント小旅行・遠足等】

英米文化特別演習では英語授業の履修による教室内での学習に加え、教室の外で行われる様々なアクティビティを通じて自分の目的に応じたコミュニケーションをとりながら英語を学ぶ機会が設定されています。

アクティビティは、世界的な観光地であるナイアガラの滝の見学・ボートツアー、レイクサイドでのバーベキュー、ワイナリー訪問、セント・キャサリンズ市庁の訪問、ナイアガラ・オン・ザ・レイク訪問など多岐にわたります。週末には、カナダ最大都市であるトロントへのデイ・トリップが行われ、運良くトロント国際映画祭の開催時期と重なれば、世界中から映画関係者やファンが訪れる国際都市トロントの非日常的な一面も垣間見られるかもしれません。

この他にも大学の行事であるぶどう踏み祭り（Grape Stomp）やキャンパス内のコンサート、ボランティア活動などにも自主的に参加することができます。これらアクティビティに積極的に参加すれば、現地の学生や住民との出会いを通じてさらに現地の文化を学ぶことが期待できます。



①



②



③



④



⑤



⑥

①②ナイアガラの滝の見学 ③ワイナリー訪問 ④セント・キャサリンズ博物館訪問 ⑤キャンパス内のコンサート ⑥ぶどう踏み祭り

小林 杏華

KOBAYASI Kyoka

1部英米文化学科1年



## 3週間の貴重な経験

私は入学前から語学留学を経験したいと思っていたので、1年生の入学して間もない時期ではありましたが、この英米文化特別演習に参加することに決めました。今回初めての留学で、3週間カナダのブロック大学に通い、普段と異なる生活を経験した中で多くのことを学びました。

ホストファミリーと初めて会ったとき、自分が留学に来たという実感が一気に湧きました。不安だらけだった私を、ホストファミリーもルームメイトも暖かく迎えてくれました。ルームメイトは同い年の中国人の女の子で、困ったことがあったときいつも助けてくれました。帰国した今でも、

電話やメッセージを送りあうことによって私に英語に触れる機会をくれています。

20人程にクラス分けされた授業では、数々の国から集まった留学生と共に考えることによって、異文化に触れて考えたりすることがとても新鮮で面白かったです。もちろん授業もすべて英語で行われ、最初は慣れない部分もありましたが、その度に自分の語彙力の足りなさを実感し、もっと勉強しようと思いました。少人数のクラスのため、それぞれが発言しコミュニケーションをとる時間がたくさんありました。

授業以外にも、観光や大学独自の行事など様々な活動があり、放課後はほぼ毎日活動していました。学校でも家でも常に英語に囲まれた生活は、自分の言いたいことがすぐに出てこなかったり、聞き取れなかったり、大変なことがたくさんありましたが、それもまた貴重な体験の一つでした。

今回の留学で得たことは今後自分の人生において大きな経験となり、カナダでの毎日の生活すべてが私にとって貴重でかけがえのない思い出になりました。私の将来の夢は、英語を必要とする職業なので、この経験を無駄にしないでこれからも勉強に励みたいと思います。



Grape Stomp (ぶどう踏み祭り)



クラスメートやホストファミリーに見送られて



## 和佐 悠矢

WASA Yuya

1部英米文化学科1年



## Studying abroad

この3週間のブロック大学の研修で学んだことで一番印象に残っていることは、それぞれの人が持っている文化の違いです。このブロック大学には様々な国の人々がやってきて、一緒に英語の勉強をします。それは、様々な文化背景を持った人が集まることを意味します。その中で一番大切だと思ったことは他の文化を理解し受け入れることです。しかしこれは時に難しく受け入れることのできないものもあります。理解できないことがあったとしてもその文化を尊重することが大切だと感じました。また、他の国から来た学生に自国の文化を理解してもらうためには、自国の文化を理解することが必要だと感じました。自分では気にもしないようなことを質問されるので説明することが難しく感じました。

今回の留学は私にとって初めてで、日本では感じることでできない経験をすることができました。日本にいるだけでは気がつかない自分の英語力の弱点を見つけることもできました。大学在学中にまた海外留学をしたいと考えているので、それに向け弱点を克服したいです。英語を母国語とする人たちの英語は私にとって聞き取るのが難しかったのでリスニングを中心に練習を重ねていきたいです。ネイティブスピーカーの英語をストレスなく聞き取り、流暢に会話することが将来の目標の一つでもあるので、たくさん経験をつんでいきたいと思っています。

もしあなたが少しでも海外留学に興味があって、行こうか迷っているなら、絶対に行くべきだと思います。実際に3週間というとても短い期間の研修でしたが、参加して色々な文化に直で触れることのできた自分だからこそ自身を持って言うことができます。ぜひ研修に参加して貴重な経験を試してみませんか？



ナイアガラ・フォールズ市のオークス ガーデン シアター



齋藤 有里佳

SAITO Yurika  
2部英米文化学科3年



## Life in Canada

カナダでの生活は非常に暮らしやすかったというのが、第一の感想です。カナダに住む人々の人柄も良く、親切でフレンドリーだったので、困ったときや道に迷ったときはよく助けてもらいました。ホストファミリーもとても親切な方で、快適なホームステイでした。また、ハロウィンや *Thanksgiving Day*、クリスマスなど、日本ではできない経験ができて良かったです。また、カナダで生活していると、日本での生活との違いが見えてきて、ひとつひとつの発見が面白かったです。違いといっても、大きなカルチャーショックは全くなかったです。

大学では、他の国からきた留学生たちと一緒に授業をするので、異文化やその国の流行など、たくさん話を聞いていい経験になりました。先生方も、授業後に質問をしに行ったら丁寧に教えてくれたので、より勉強になりましたし、会話をする機会にもなりました。ブロック大学では構内にいくつかフード店が入っていたり、無料で利用できるジムやプールもあって、施設も充実していました。

この留学で私はたくさんの人に出会い、たくさんの刺激を受けました。日本の他の大学から来た留学生や他の国から来た留学生と交流し、視野が広がり、以前までの自分の考え方も変わりました。日本人の思考しか持っていなかった自分が、この留学を経て吸収した違う角度からの視点やものの考え方を、今後社会に貢献していくうえで生かしていきたいと思っています。

これから留学する方は、不安や心配事がたくさんあると思いますが、大変なのは最初の一瞬だけで、すぐに生活に慣れていきます。それから、積極的になればなるほど楽しいことにたくさん出会えると思います。なので是非、たくさん英語を話し、たくさんの人と関わって、いろいろなことを学んで吸収しつつ、留学を楽しんでほしいです。



左から、アクティビティで訪問したパンプキン・ファームにて、ステイ先の近所のイルミネーション、サーカスで



中川 智博

NAKAGAWA Tomohiro  
1部英米文化学科2年

## Precious Experience



私はブロック大学に3ヵ月留学することにより、多くのことを経験し、日本に伝えていくべきことを学びました。日本語が全く通じない世界、そして文化の違いに若干齟齬をきたしていたものの、大きな問題もなく生活できました。英語で人に話しかけること、様々な文化の人と共存することなど、一回り人間として大きく成長することができました。私が一番に伝えたいことは、カナダの人々の温かさです。福祉に対する意識が日本人と比べて高いと感じました。特にお年寄りや身体に障がいがある方がバスに乗車するときには、席を譲ることはもちろん、ベビーカーを持つ方や、車いすの方への配慮を怠りませんでした。日本人にも確かにこのような福祉の心は感じます。しかし、それよりも高いレベルのものを感じました。また、バスを降りるときには、ほとんどの方が運転手に「ありがとう」と感謝を述べてから降車します。旅行者などが困っているときには話しかけ、手助けをしようとする姿勢も多く見られました。これらのように、人の温かさや親切さを特に感じられた3ヵ月でした。また、レストランやアパレル店員は日本のお店と比べ、本当に楽しそうに仕事をしていました。このように楽しく仕事をするることにより、現代日本の問題点である、過労死などを減少させることにつながると感じました。私はこの体験を踏まえ、積極的に人助けをし、福祉の心を私たちの国にも広めていけるように努めていきます。また、現代日本の問題解決に少しでも貢献できるよう、カナダの良い文化を取り入れていきます。他国の人々に対し、多くの先入観が流布している現代の中で、より多くの誤解を解き、良い文化を人々に伝えていけるよう、倦まず弛まず尽力していきます。



左上：カンパセーション・パートナーと、右上：トロントで、  
左下：Tim Hortons (カフェ)、右下：クリスマス・パーティー  
ニューヨークへの小旅行で



柳澤 莞太

YANAGISAWA Kanta  
1部英米文化学科2年



## My Precious Experiences in Canada

私は今回、北海学園大学の国際文化特別演習として約14週間、カナダのブロック大学へ語学留学しに行きました。カナダへ出発する前は、語学留学という貴重な体験ができるということが楽しみで仕方ありませんでしたが、その一方で、私にとって人生初の海外渡航だったこともあり、不安でもありました。しかし、いざカナダに到着してみれば、とても親切な人ばかりでした。道に迷った時でも、尋ねれば優しく教えてくれました。そして無事にホストファミリーの家に着くと、ホストファミリーが温かく出迎えてくれ、とても安心しました。

カナダの文化は日本と違う部分もいくつかあり、初めはかなり戸惑いましたが、否定せずにそれと向き合うことでうまくやっていくことが出来ました。ただ、もちろん悪い面だけではなく良い面もありました。たとえば、バスを降りるとき、カナダの人々は“Thank you.”と言います。日本ではこのようなことはほとんど無いので、私はこの文化にとっても感動しました。

ブロック大学では、一コマ50分の授業を毎日5つ受けます。他の国からの学生はみなとても意識が高く、授業で積極的に発言をするので、「自分も何か発言しなければ」と、とてもやる気にさせられます。そのような環境にいたおかげで、最終的には自分も積極的に発言をするようになりました。

私は、今回の語学留学で英語力が上達しただけでなく、自分の授業に対する意識やほかの物事に対する積極性の変化を大きく感じました。この貴重な経験を今後の私の大学生活に生かしていきたいです。大学生活だけでなく、いろいろなことに積極的に挑戦してみようという気になりました。これからこの語学研修への参加を考えている人には、弱気にならず何事にも積極的に行動してほしいです。そうすれば、とても充実した留学生活を送れることでしょう。



上：スピーキング・クラスでのプレゼンテーション、  
下：トロントの街並



# レスブリッジ大学及び Lethbridge 市の紹介

## Lethbridge市

カナダの西部のアルバータ州に位置するレスブリッジ市 (City of Lethbridge) は、州内でカルガリー、エドモントン、レッド・ディアに次ぐ4番目の人口(現在93,004人)を有する都市です。カナディアンロッキーの近くに位置するため、夏は涼しく(平均26℃)、冬もさほど厳しくなく(平均-2℃)、2時間南下すると、ロッキー山脈沿いのウォータートン・レイク国立公園に入り、1時間ほどでアメリカに行くことができます。

レスブリッジ市は南アルバータの商業、金融、交通、そして工業の中心で、19世紀後半からは炭鉱を中心に、20世紀初頭からは農業を中心に発展してきました。労働人口の半数は衛生、教育、小売、宿泊飲食産業などに携わっています。第二次世界大戦中、ブリティッシュ・コロンビア州から強制収容された日系人がレスブリッジ郊外の農村地帯に住んでいたという歴史を持ち、日系人の比率が比較的高いと言えます。2011年の国勢調査によれば日本人人口は1,575人(そのうち日本語を母語として話す人口は320人)。現在、青森県十和田市と沖縄県南風原町と友好姉妹都市を結んでいます。また日加友好日本庭園(Nikka Yuko Japanese Garden)が市の南部にあります。



レスブリッジ大学

## レスブリッジ大学とは

レスブリッジ大学は、1967年州立大学として創立された南アルバータにおける唯一の総合大学です。南アルバータの3つのカレッジのうち2つが市内にキャンパスを構え、人文・社会学部、芸術学部、健康学部、理学部、経営学部、看護学部、演劇学部、音楽学部の八つの学部と大学院で学士・修士・博士課程の教育が行なわれ、150以上の学部課程のプログラムと大学院課程のプログラムを有します。在学生は8,400人(500人は世界87カ国からの留学生)で、2014年『マクリーフ』(カナダの時事雑誌)の大学の評価と、2013年 RESEARCH Infosource (研究大学を評価するサイト)において、いずれもカナダ国内の大学3位にランクされています。教育は少人数クラスと小コミュニティのなかで行なわれるのが特徴で、英語を母語としない学生のためのプログラムも毎年、春、夏、秋学期に提供しています。

## レスブリッジ大学海外研修事業の概要とEAP授業

レスブリッジ大学と本学は1986年から提携を結んで学生交換事業を行ない、現在まで隔年ごとに多数の学生を相互に派遣してきました。世界的なグローバル化が進展するなか、この学生交換事業は「語学研修」と「交流体験」を通して英語の養成と国際性の涵養が目的とされ、多くの実績と豊かな経験を蓄積してきました。

2014年度から人文学部は、上記の事業にさらに「海外研修事業」を加え、学生が「英米文化特別演習」として、9月上旬から約3週間、また「国際文化特別演習」として約3ヶ月間、レスブリッジ大学が提供するEAP (English for Academic Purposes) のプログラムに参加できるように決定しました。EAPとは、英語を母語としない学生のためのプログラムで、大学で学ぶために必要な英語を習得する集中講座で、ライティング、リーディング、コミュニケーション、グラマーを専門講師から学び、初級から上級までのクラスレベルがあります。

研修期間中、学生たちは、南米諸国、中東、アジア各国からの留学生を中心とする多様な文化背景を持つ人々と授業

を受けることになります。また、ホームステイや世界各国からの留学との交流を通して、あるいは日加文化活動の参加と国立公園への探訪などの体験を通してカナダ文化に触れ、多文化主義をも体験することができます。

### 【授業内容例】

- 受講生はプレースメントテストにより初級から上級までの3つのレベルに分けられ、それぞれのレベルでライティング、リーディング、コミュニケーション、グラマーの4コースを受講します。
- 2014年度からレスブリッジ大学での研修を本学の「英米文化特別演習」(2単位)または「国際文化特別演習」(受講科目に応じる。過年度は12単位。)として履修可能となり、研修終了後にレスブリッジ大学から送られてくる成績評価に基づき、学部教授会で単位認定されます。



様々な国からの留学生たちと



①②③レスブリッジ大学の教室で ④修了式で

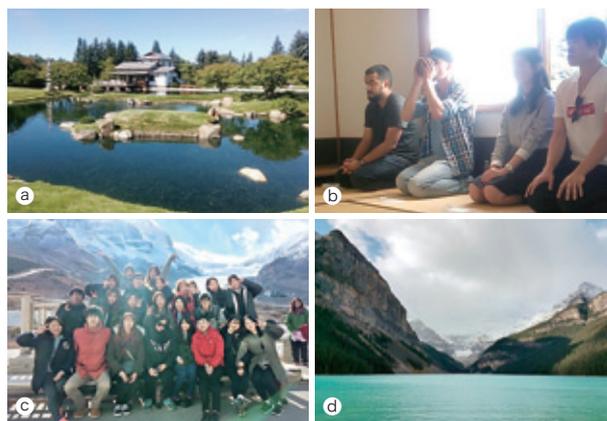
## レスブリッジ大学のアクティビティ【日本庭園やウォータートン国立公園等】

生きた英語力を身につけ、より流暢に英語を話し、多様な価値観と国際性を涵養するためには、教室だけでは不十分です。さまざまなアクティビティを通して、豊富な体験をすることも必要です。

例えば、ある参加学生は、日本語を学ぶ同世代のパートナーと休日に日本庭園や英語環境のなかの日本文化イベントのお茶会に参加したり、和食レストランに行くなどのアクティビティを通して、とても感動したという体験談を報告しています。あるいは、金曜日は授業が早く終わるので、放課後にバーに行き、お酒を飲みながら話し、カナダ人のほぼ全員が踊ると言われているラインダンスを教してもらったり、普段の授業の日もパートナーとお昼を一緒に食べたりすることで、よい友人関係を築き、帰国するときには離れたくなくてとても寂しかったという話もありました。戦前から日本と特別な関係があるレスブリッジ市ならではの体験ができるそうです。

また、Waterton National Park (ウォータートン国立公園) を散策した学生は、同じプログラムに参加した韓国からの留学生と一緒に行動し、英語を通してカナダでの異文化を体験しています。ハイキングで川の近くまで迫ったとき、壮大な湖と雄大な自然に感動して撮った風景は、どれもこれも絵になるような写真ばかりだったそうです。

参加者全員は、市民ホールで開かれたレスブリッジ市主催の国際留学生のための「グローバル・ナイト・パーティ」に参加しました。ゲーム、会話、ダンスなどで(食事込みで\$2のみ)、大いに楽しんだとのことでした。



㊸日本庭園 ㊹日本文化イベントのお茶会 ㊺㊻ウォータートン旅行

菅原 大夢

SUGAWARA Hiromu  
1 部英米文化学科 2 年



## この留学を通して

今回のカナダ、レスブリッジ大学への留学は私にとって初めての海外であり、やること起きること全てが初めてで新鮮でした。英語を学び始めた時から、海外に留学してみたいと思っていたので、それが達成できたことはとても良かったです。私は初めての海外だったので緊張しなかったのですが、本当にたくさんの今までに経験したことのないような刺激的な経験をすることができました。かけがえのない友達や先生との出会い、ホストファミリーとの生活、日本にはない文化の体験、とても充実したものでした。カナダでの生活は失敗もたくさんありましたが、一生の思い出となりました。

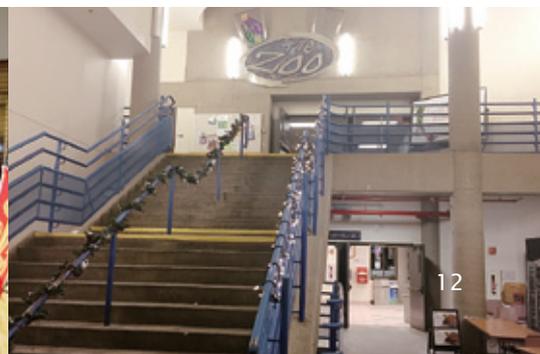
レスブリッジ大学では、学期が始まる前にテストを受け、それによりクラス分けをされ、様々な国の留学生達と、*Writing, Reading, Grammar, Communication* の四つの授業を受けていくというものでした。異なる国の学生達との学校生活はとても楽しく、お互いの言語を教えあったり、宿題について確認したり、異文化を知る最高の機会でした。

授業のほかに、たくさんのイベントやアクティビティがありました。レスブリッジ市でやっているイベントなどには *Communication* の宿題の一環として参加し、現地の人と話をしたりしました。レスブリッジ大学が行っているアクティビティには、出席の意思をメールで示さないといけないものがありました。ここで私は失敗をしてしまいました。大学の授業が始まる前に、同じプログラムに参加する学生たちとウォータートン国立公園を訪れるという機会がありました。しかし、参加するには応募が必要で、その応募期間をしっかりと確認しておらず、私は行くことができませんでした。学園大の他の生徒はそこで友達を作っていたので、私は本当に失敗したなと思いました。このようなイベントやアクティビティに積極的に参加し、友達を増やしたり、英語を使う機会を増やすことが大切だと気づかされました。

この留学を通して、英語という言葉は、他の国の人たちとコミュニケーションをとる大切なツールの一つであると改めて感じました。この留学の経験を活かし、自分の英語力をさらに発展させて社会に貢献できるようになりたいです。



ウォータートン国立公園にて (本人)



村田 朱菜

MURATA Ayana  
1部英米文化学科2年



## 全てが学びの4ヵ月

今回の4ヵ月間で学んだことは英語だけではなく、日本の家族と離れて生活することで、家族の大切さや家族との時間は大切だと改めて感じました。私のホームステイ先では家族との時間を一番に考えていて、映画を一緒に観たり食事をしたりすることが多く感じられました。イベントごとに親戚が一つの家に集まって伝統料理を食べたり情報交換をお互いにしたりして家族団欒の時間を共に過ごせたことは驚きました。お客様としてではなく、親戚一同が家族の一員として私を迎えてくれたので気を使いすぎることなくイベントに参加することができました。

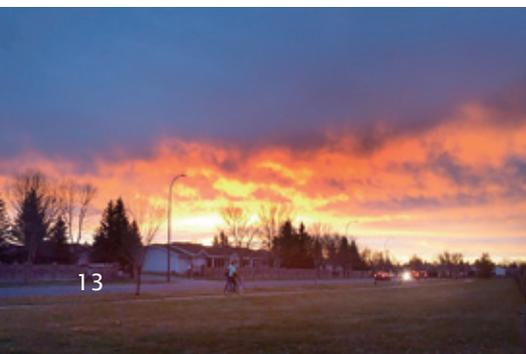
大学では、授業をうけるだけの生活ではネイティブ・スピーカーと話す時間はほぼなかったのですが、会話のパートナーとの週2回の会話の時間は私にとってとても良い時間でした。頻繁に使用する表現方法や日本では習っていたけれど日常会話では使用しない表現方法を彼女との会話から学ぶことができました。ネイティブ・スピーカーの話の聞いていると、会話のスピードが速いので聞き取れないことがたくさんありましたが、その会話から言い回しやイディオムを数多く覚えられたと感じます。授業では、考えや意見を発信する大切さを主に学びました。わかっているけど“大丈夫かな。”と思っているうちに外国人のクラスメイトが発言しているといえよかっと思うことがたくさんありました。自分の意見が間違っていたとしても、それをもう一度調べることで記憶に残りやすいので積極的に発言し、自分の考えを伝えることが授業において必要なことだと感じました。今後はもっと外国の方々と英語でお話をする機会を増やして、授業でも積極的に英語を話していきたいと思います。4ヵ月という短期間で英語を完璧に話せるようにはなることは難しいですが、得るものは大きいと感じたのでぜひ参加してほしいと思います。



大学内の食堂にて、会話パートナーと



友人のホストファミリーの家で夕食



山陰 龍也

YAMAKAGE Tatsuya  
1部英米文化学科2年



## レスブリッジでの4ヶ月間

英語を流暢に話せるようになる、それが私の小さな頃からの夢でした。その夢を少しでも叶えるため、国際文化特別演習に参加し約4ヶ月間カナダのレスブリッジ大学で英語を学びました。結果として、私の英語力はメキメキと上達！今では英語のネイティブスピーカーと楽しくおしゃべりできるまでになったと自負しています。

現地で受けたプレイスメントテストの結果から私は中級クラスへと割り当てられました。そのクラスは日本人・中国人・韓国人の7人で構成され、アットホームな雰囲気の中楽しく英語を学ぶことができました。基本的な学ぶ内容 (*Reading, Writing, Grammar, Communication*) は日本と変わりませんが、学び方にはとても大きな差がありました。カナダでは「自分の意見を持つこと」「それを他人に伝えること」が求められます。私のクラスではすべての授業にディスカッションタイムが設けられていたので、毎日毎時間ある題材に対して英語で自分の意見を他人に伝え、また他人の意見に対しての自分の意見を即座に答える力が必要とされました。頭を使う疲れる時間でしたが、様々な国の人々から自分とは違う観点から捉えられた意見を聞くのはとてもおもしろかったです。勿論英語力向上にも大変役立ったと思っています。

この4ヶ月で、英語は沢山の国籍の人々と自由に話せる素晴らしいツールであると強く思うようになりました。「こんにちは」すら知らない国から来た人とでも、英語を使う事で楽しい会話をする事ができ、そして新しい情報・考え方・世界を知る事ができる。私はこの国際文化特別演習で留学に挑戦してみて、良かったととても強く思っています。英語を話せるようになりたいと思っている人にはピッタリで最高のプログラムですので、ぜひ挑戦してみてください。



クラスの皆と



# 研修までの流れ

※年度により、スケジュールが変更することもあります。



# 海外研修事業の歴史

## 人文学部 英米文化特別演習／国際文化演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	引率教員	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成12(2000)年度 7月7日～8月13日	宝利 尚一	18名 (男子7名、女子11名)	米坂 スザンヌ
			米坂 スザンヌ		岩崎 まさみ
第2回	ブロック大学	平成13(2001)年度 7月8日～8月12日	井上 真蔵	22名 (男子5名、女子17名)	米坂 スザンヌ
			岩崎 まさみ		岩崎 まさみ
第3回	ブロック大学	平成14(2002)年度 7月7日～8月11日	桑原 俊一	20名 (男子3名、女子17名)	米坂 スザンヌ
			上野 誠治		岩崎 まさみ
—	平成15(2003)年度 SARSの流行により中止				米坂 スザンヌ
					岩崎 まさみ
					大石 和久
第4回	ブロック大学	平成16(2004)年度 9月4日～9月26日	米坂 スザンヌ	25名 (男子2名、女子23名)	米坂 スザンヌ
			岩崎 まさみ		岩崎 まさみ
第5回	ブロック大学	平成17(2005)年度 9月4日～9月25日	栗原 豪彦	24名 (男子4名、女子20名)	米坂 スザンヌ
			米坂 スザンヌ		岩崎 まさみ
					中川 かず子
第6回	ブロック大学	平成18(2006)年度 9月3日～9月24日	中川 かず子	20名 (男子6名、女子14名)	米坂 スザンヌ
			イアン・マンビ		岩崎 まさみ
					中川 かず子
第7回	ブロック大学	平成19(2007)年度 9月2日～9月23日	上野 誠治	22名 (男子4名、女子18名)	米坂 スザンヌ
			池内 静司		岩崎 まさみ
					中川 かず子
第8回	ブロック大学	平成20(2008)年度 9月1日～9月21日	桑原 俊一	23名 (男子0名、女子23名)	岩崎 まさみ
			本城 誠二		上野 誠治
—	平成21(2009)年度 世界流行のインフルエンザにより中止				岩崎 まさみ
					上野 誠治
第9回	ブロック大学	平成22(2010)年度 9月5日～9月26日	岩崎 まさみ	27名 (男子5名、女子22名)	米坂 スザンヌ
			ウィリアム・ケイ		岩崎 まさみ
					中川 かず子
第10回	ブロック大学	平成23(2011)年度 9月4日～9月25日	田中 洋也	26名 (男子5名、女子21名)	米坂 スザンヌ
			ウィルマ・ルース		寺田 吉孝
第11回	ブロック大学	平成24(2012)年度 9月3日～9月23日	岩崎 まさみ	24名 (男子8名、女子16名)	米坂 スザンヌ
			ジェレミ・ブシャー		田中 綾
第12回	ブロック大学	平成25(2013)年度 9月1日～9月22日	上杉 忍	13名 (男子3名、女子10名)	米坂 スザンヌ
			ブリックリン・ゼフ		テレント アイトル
第13回	ブロック大学	平成26(2014)年度 8月31日～9月21日	柴田 崇	14名 (男子2名、女子12名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		米坂 スザンヌ	12名 (男子3名、女子9名)	田中 洋也
					テレント アイトル
第14回	ブロック大学	平成27(2015)年度 9月6日～9月27日	ジェレミ・ブシャー	14名 (男子2名、女子12名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		平成27(2015)年度 最少催行応募人数の10名に至らなかったため中止		上野 誠治
					ジェレミ・ブシャー
第15回	ブロック大学	平成28(2016)年度 9月6日～9月23日	米坂 スザンヌ	12名 (男子2名、女子10名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学		平成28(2016)年度 最少催行応募人数の10名に至らなかったため中止		本城 誠二
					ジェレミ・ブシャー

## 人文学部 国際文化特別演習 実施一覧表

	研修大学	研修期間	参加学生数	委員
第1回	ブロック大学	平成27(2015)年度 9月8日～12月18日	3名 (男子1名、女子2名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成27(2015)年度 9月9日～12月17日	3名 (男子2名、女子1名)	上野 誠治
				ジェレミ・ブシャー
第2回	ブロック大学	平成28(2016)年度 9月6日～12月16日	3名 (男子2名、女子1名)	米坂 スザンヌ
	レスブリッジ大学	平成28(2016)年度 9月7日～12月15日	3名 (男子2名、女子1名)	本城 誠二
				ジェレミ・ブシャー

# Brock & Lethbridge Gallery







平成29年3月発行

北海学園大学 人文学部

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号  
TEL: 011-841-1161 (内線2132)  
FAX: 011-824-7729  
北海学園大学 URL: <http://hgu.jp/>  
北海学園大学人文学部 URL: <http://human.hgu.jp/>

edit : Labbott